

# TAKE NINAGAWA

バイオグラフィー

泉太郎

Taro Izumi

1976年奈良生まれ

現在東京都在住

2002 多摩美術大学院美術研究科修士課程修了

## 主な個展

- 2018 「家村ゼミ展2018: 今年は、泉太郎。」, 多摩美術大学八王子キャンパス アートテーク・ギャラリー, 東京  
「My eyes are not in the centre」, White Rainbow, ロンドン
- 2017 「突然の子供」, 金沢21世紀美術館, 石川  
「←連絡」, Take Ninagawa, 東京  
「Night Lie」, Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois, パリ  
「Pan」, パレ・ド・トーキョー, パリ
- 2015 「わら時、ポ会の術(多孔式豆腐における内臓体消失研究チーム発表会)」, Art Center Ongoing, 東京
- 2014 「合同ピ、解放ポ」, Take Ninagawa, 東京  
「No Night, Day Neither」, The Nassauischer Kunstverein, ヴィースバーデン
- 2013 「連絡→」, HIGURE 15-17 cas, 東京  
「眩む足場 / しびれる足に寄り添ううなぎ」, hiromiyoshii roppongi, 東京  
「CSLAB EXHIBITION Vol.2 泉太郎「貝塚と生活」」, 東京造形大学CS-Lab, 東京  
「たしかめる」, アーツイニシアティヴトウキョウ(AIT), 東京  
「皺の源」, Galerie Georges - Philippe & Nathalie Vallois, パリ
- 2011 「ヤブ医者 / 髭の中」, スプラウト・キュレーション, 東京  
「勇ましいあくび」, hiromiyoshii, 東京  
「cloud, looks like a spider」, NADiff Window Gallery, 東京  
「動かざる森の便利, 不便利 Tamagawa Art Gallery Projects 2011-2012 no.4」, 玉川大学, 東京
- 2010 「こねる」, 神奈川県民ホールギャラリー, 神奈川  
「捜査とあいびき」, hiromiyoshii, 東京  
「くじらのはらわた袋に隠れる, ネズミ」, アサヒ・アートスクエア, 東京
- 2009 「山ができずに穴できた」, NADiff a/p/a/r/t, 東京  
「ヘルシンキ」, Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois, パリ
- 2008 「マジシャンのパン・日食」, hiromiyoshii, 東京  
「junglebook」, gallery stump Kamakura, 神奈川
- 2007 「ゲーム台 (倉)」, buro13 by hiromiyoshii, 東京
- 2006 「トロッコ」, hiromiyoshii, 東京
- 2005 「GENIUS EPISODE 1&2」, HIROMI YOSHII FIVE, 東京
- 2003 「ザイレント」, 麴町画廊, 東京
- 2002 「バーゲン」, Pepper's loft Gallery, 東京

# TAKE NINAGAWA

## 主なグループ展

- 2019 「百年の編み手たち -流動する日本の近現代美術-」, 東京都現代美術館, 東京 (開催予定)
- 2018 「うごくとまる」, ハラミュージアム アーク, 群馬  
「Visions of Exchange: Mercedes-Benz Art Scope Award 2009-2017」, Daimler Contemporary Berlin, ベルリン  
「10th Anniversary」, Take Ninagawa, 東京  
「Par amour du jeu 1998-2018」, Magasins généraux, パンタン
- 2017 「In Focus: Contemporary Japan」, ミネアポリス美術館, ミネソタ  
「Japanorama - 1970年以降の新しい日本のアート」, ポンピドゥー・センター・メッス (curated by 長谷川祐子)  
「Japanese Connections」, Nikolaj Kunsthal, コペンハーゲン  
「メルセデス・ベンツ アート・スコープ2015-2017 - 漂泊する想像力」, 原美術館, 東京
- 2016 「Une Forme olympique」, キャンパスHEC, パリ (curated by Jean-Marc Huitorel)  
「Paradoxa. Japanese Art Today」, Casa Cavazzini, ウーディネ  
「Paris Champ & Hors Champ」, Galerie de l'Alliance Française, (メンドサ), (レシフェ), (ジョアンペソア), (メデジン), (ペレイラ), (マニサレス)- 2016
- 2015 「Paris Champ & Hors Champ」, Galerie de l'Alliance Française, (ブエノスアイレス), (コルドバ)- 2015  
「われらの時代:ポスト工業化社会の美術」, 金沢21世紀美術館, 石川
- 2014 「Paris Champ & Hors Champ」, パリ市立図書館ギャラリー, パリ  
「コレクション II」, 国立国際美術館, 大阪  
「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画:クロニクル1995-」, 東京都現代美術館, 東京  
「Japon」, メマック市立現代アートセンター  
「PORTRAIT DE 3/4」, Galerie Georges - Philippe & Nathalie Vallois, パリ
- 2013 「DOUBLE MESSAGE」, SCAI THE BATHHOUSE, 東京  
「六本木クロッシング2013:アウト・オブ・ダウト-来たるべき風景のために」, 森美術館, 東京  
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2013」, 六甲山, 兵庫  
「ユーモアと飛躍」, 岡崎市美術博物館, 愛知  
「Identity IX」, nca | nichido contemporary art, 東京  
「MOTコレクション 第2部 ぼくからきみへ -ちかくてとおいたび-」, 東京都現代美術館, 東京  
「アートがあればII -9人のコレクターによる個人コレクションの場合」, 東京オペラシティアートギャラリー, 東京  
「であ、しゅとるむ」, 名古屋市民ギャラリー矢田, 愛知
- 2012 「But Fresh」, トーキョーワンダーサイト本郷, 東京  
「VOICE OF IMAGES」, パラッツォ・グラッシ フランソワ・ピノー財団, ベニス  
「THE ECHO 2012 BERLIN」, クンストラウム・クロイツベルク/ベタニエン, ベルリン  
「リアル・ジャパネスクー 世界の中の日本現代美術」, 国立国際美術館, 大阪  
「Humour, parodie et vidéos: créations vidéo du Japon contemporain」, 日本文化会館, パリ  
「池田シゲルキュレーション展:縁側つなわたり・無理強い計」, TALION GALLERY, 東京  
「泉太郎キュレーション展:有袋類」, TALION GALLERY, 東京  
「小金井アートフル・ジャック! バミューダトライアングル」, シャトー小金井, 東京
- 2011 「オムニログ:オルタネイティング カレント:3.11以降の日本現代美術」,  
パース・インスティテュート・オブ・コンテンポラリー・アート, パース  
「ヨコハマトリエンナーレ2011 OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ることができるか?」,  
BankART Studio NYK, 横浜

# TAKE NINAGAWA

- 「Invisibleness is Visibleness: International Contemporary Art Collection of a Salaryman - Daisuke Miyatsu」, 台北現代美術館, 台北
- 「サイレント・ナレーター それぞれのものがたり」, 東京都現代美術館, 東京
- 「JAPANCONGO: Carsten Hollers double-take on Jean Pigozzi's collection」,  
グルノーブル現代アートセンター(フランス), モスクワ現代美術センター(モスクワ),  
パラッツォ・レアーレ(ミラノ)
- 「Shifting Surfaces : Experience, Perspectives and Media」, アートソンジエ美術館, キョンジュ
- 「暴力と宇宙」, island, 柏
- 2010 「Trust: Media City Seoul 2010」, ソウル市立美術館, ソウル
- 「MOTコレクション 入り口はこちら—何がみえる? 」, 東京都現代美術館, 東京
- 「CITY 2.0 - WEB世代の都市進化論」, EYE OF GYRE, 東京
- 「Media Landscape - Zone East, リバプールビエンナーレ関連企画」,  
Contemporary Urban Center, リバプール
- 2009 「日常/場違い」, 神奈川県民ホールギャラリー, 横浜
- 「Twist and Shout: Contemporary Art from Japan」, バンコク・アート・アンド・カルチャーセンター, バンコク
- 「Extra/Ordinary: Video Art from Asia」, スペンサー美術館, カンザス大学, カンザス
- 「POST.O: The Reverse of TOPOS」, Garden City Space of Art, 台北
- 「動物園にエイゾウがやってきた!!」, CREAMヨコハマ国際映像祭2009, 横浜市立野毛山動物園, 横浜
- 「こども+おとな+夏の美術館 まいにち, アート!! 」, 群馬県立近代美術館, 群馬
- 「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」,  
マハーサーラカム大学 ジャンパーシーアートギャラリー(マハーサーラカム), コアラスペース(天津),  
53美術館(広州), 香港アートセンター(香港), 高雄市文化センター(高雄),  
マラヤ大学アートギャラリー(クアラルンプール), マレーシア科学大学トゥアンク・ファウジア博物館&  
ギャラリー(ペナン), ファインアーツ(マスカット), M16 アートスペース(キャンベラ),  
ギャラリーセントラル(パース), メトロポリタン美術館(マニラ), 龍頭山美術展示館(プサン),  
安養ロッテギャラリー(アンヤン), 済州道立美術館(チェジュ),  
在大韓民国日本国大使館広報文化院(ソウル), ホーチミン市労働文化会館展示館(ホーチミン),  
ベトナム国立美術博物館(ハノイ), シントラ現代美術館(シントラ), アリカンテ大学美術館(アリカンテ),  
セオハラキス財団美術館(アテネ), マルミタロ(ヘルシンキ), ゲジラ・アート・センター(カイロ),  
トカチー(サンクトペテルブルク), 国立現代美術センター(モスクワ), エルンスト美術館(ブダペスト),  
メキシコ国自治大学付属チョボ美術館(メキシコシティ), トロント日本文化センター(トロント),  
日米文化会館 ドイザキギャラリー(ロサンゼルス), アビリスウィス・アーツ・センター(アビリスウィス),  
ローマ日本文化会館(ローマ), ケルン日本文化会館(ケルン), 原美術館(東京)- 2016
- 「Re: Membering - Next of Japan」, Alternative Space Loop, ソウル
- 「ビデオを待ちながら: 映像, 60年代から今日へ」, 東京国立近代美術館, 東京
- 「UNLIMITED」, アプリユス(A+), 東京
- 2008 「Between Art and Life」, ジュネーブ現代美術センター, ジュネーブ
- 「TOKYO NONSENSE」, サイコン・インスタレーション, ロサンゼルス
- 「THE ECHO」, ザイム, 横浜
- 「Landmark Project 3 国道16号線を越えろ! ←野毛にいこう」, 野毛山地区, 横浜
- 「食と現代美術」, BankART1929, 横浜
- 2007 「Techniques of Storytelling - speaking of unspeakable」, サムジースペース, リープ, ソウル
- 「Out of the Ordinary: New Video from Japan」, ロサンゼルス現代美術館, ロサンゼルス
- 「COLLECTOR'S CHOICE: Collection 2」, デリウム現代美術館, ソウル

# TAKE NINAGAWA

- 「夏への扉ーマイクロポップの時代」, 水戸芸術館現代美術ギャラリー, 茨城
- 2006 「After the Reality」, Daitech Project, ニューヨーク  
「福武ハウス in 越後妻有アートトリエンナーレ2006」, 名ヶ山小学校, 新潟  
「THEORY OF EVERYTHING: VIDEOART FROM TOKYO」,  
Caochangdi Workstation Art Center (北京), tank.tv, Location One / ニューヨーク大学 (ニューヨーク)
- 2005 「ザ・ワールド・イズ・マイン」, HIROMI YOSHII FIVE, 東京  
「ギャラリー・アーティスト展」, hiromiyoshii, 東京
- 2004 「フィールド・オブ・ドリームズ」, 小山登美夫ギャラリープロジェクトルーム, 東京
- 2001 ギャラリー・ルデコ, 東京

## 主なパフォーマンス

- 2014 「JINS ART PROJECT」, JINS 吉祥寺ダイヤ街店, 東京
- 2013 「hubn't ArtCenter Ongoing」, Art Center Ongoing, 東京 [Orrorinメンバーとして参加]  
「徒歩の屋根」, 六本木アートナイト, 六本木ヒルズ, 東京 [泉太郎 + Orrorinとして参加]
- 2012 「焚き火」, blanClass, 横浜  
「すみだ川アートプロジェクト2012」, アサヒ・アートスクエア, 東京  
[山賀ざくろ(ダンサー)とのコラボレーション]
- 2011 「はい！ 僕です, 本当に? : オンゴーイング・スクール」, Art Center Ongoing, 東京
- 2010 「吾妻橋ダンスクロッシング」, アサヒ・アートスクエア, 東京  
「さまよえる三つ子の魂」, 荻窪ベルベットサン, 東京
- 2008 「山賀ざくろ(ダンサー)とのコラボレーション」, トヨタコレオグラフィードアワード2008, 東京
- 2007 「山賀ざくろとのコラボレーション」, HARAJUKU PERFORMANCE + , ラフォーレ原宿, 東京

## スカラシップ / レジデンス

- 2018 Delfina Foundation, ロンドン
- 2017 SAM ART PROJECT, パリ
- 2015 メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2015-2017, ベルリン
- 2014 The Follow Fluxus - After Fluxus Grant, The Nassauischer Kunstverein, ヴィースバーデン
- 2013 The Japan-UK Residency Exchange Programme 2013, Cove Park, ヘレンズバラ

## 主なパブリックコレクション

金沢21世紀美術館  
国際交流基金  
国立国際美術館  
東京都現代美術館  
JINS  
ダラス美術館  
FDACセーヌ・サン・ドニ県現代美術コレクション  
FMACパリ市立現代美術コレクション  
M+  
ジャン・ピゴッツィ・コレクション  
フランソワ・ピノー財団  
スペンサー美術館, カンザス大学